

検討している。建物の鑑定評価結果は、研究所1億7千5百17万6千円となり、共同住宅2千9百91万6千円となった。

▽**商工業支援施策について**

本支援については、幌延町で商工業を営む個人事業者、法人事業者に対して、新たに機械設備の導入による経営力強化、人材確保及び育成を推進し、本町の産業発展に資することを目的として補助制度を設けるものである。

○機械設備等で経営が改善されるものの補助対象は、機械、装置、車両、運搬具、工具及び備品。

補助率は、対象経費の2分の1。上限については5百万円まで

○幌延町雇用促進補助制度
地元企業の振興及び地域の雇用促進を図る事を目的とし、補助金額は1人につき3年間で百万円を事業主に支給。1年目50万円、2年目30万円、3年目20万円となっている。又町外から採用した場合、準備金として

移住者に10万円を支給。

○幌延町人材育成支援補助制度については、事業者が若年者を雇用、資格および免許の取得のための研修、講習を受講される事業者に対してその一部を助成する。補助対象としては、50歳以下の従業員が業務に必要とされる資格取得に要する

第6回 まちづくり常任委員会報告

9月27日



経費、一日3千円。20万円を限度とする。補助金の額と補助率については、対象経費の2分の1。上限を20万円とする。

○**調査事項**

▽**町道雄興1号線について**

町道雄興1号線下平橋の点検後の対策については、これまで代替路線の整備に係る調査を行うと共に、地区居住者の移転も選択肢の1つに資産評価を実施した。コンサルとの意見交換も踏まえ、庁内においてさまざまな議論をした結果、点検結果がⅢ判定で通行可能な補修工事ができるとしたら、今後の対応策が変わってくる可能性がある。従って、慎重を期すため、今年度において、下平橋に係る

予備調査を実施し、判断したいと考えている。



町道雄興1号線 下平橋

議会広報研修会

8月22日

北海道町村議会議長会主催の「議会広報研修会」が札幌市のポールスタール札幌大会議室で開催され、鷺見議員、吉原議員の2名が参加しました。

講師は、吉村潔氏（エディター・広報アナリスト）で、木古内町・鷹栖町・東神楽町・東川町・剣淵町・下川町・羽幌町・天塩町・猿払村・音更町の10町村の議会広報がクリニックを行い、具体的に見出しの書き方や行間の取り方の指導を行いました。

私達の広報は、町広報と一本化されましたので、単独の場合とは異なった問題があります。どちらにしても読みやすさ、わかりやすさが求められると共に、文字数の削減と図表を使った「見える化」が必要であることを痛感いたしました。より一層、研究に励みたく思いました。

編集後記

木々も色づき、高い山では初冠雪、峠では積雪の便りが届く季節になった。これからは一歩また一歩と平地でも寒くなるばかり。そんな中、10月18・19日は牛たちの退牧の日である。新緑の5月に初めて放牧をされる牛、また2年目の牛たちが一斉に牧場に放たれてから早くも6ヵ月が過ぎ、1回も2回も大きくなって帰ってくる。牛たちが大きくなり、元気で帰ってくるのは嬉しいことだが、なんと月日の過ぎるのが早いのかと感じる今日この頃、皆様はどう感じているでしょうか。刻々と変わる世情。また身体に厳しい時期となります。皆様には身体に気を付けてお過ごしください。

- 編集委員長 西澤 裕之
副委員長 鷺見 悟
委員 高橋 秀之
吉原 哲男